

(12月1日現在)	(11月中)	
世帯数 14,272世帯	生れた人 57人	
人口 47,966人	亡くなった人 19人	
男 23,866人	転入した人 361人	
女 24,100人	転出した人 282人	

はばたけ未来へ



あけましておめでとうございます

市民のみなさんには、輝かしい昭和五十二年の新春を、新しい希望と抱負を胸に、ご家族おそろいでお迎えになったことと、心からお喜び申し上げます。ことしは向日市にとっても、市政施行後、早や五年目を迎えることになりました。

本市では市政施行以来、清潔で明るい市民本位の自治の確立を目指し、住みよいまちづくりを市政の基本姿勢として、市民の福祉を高めるように市政をおし進めてまいりました。

幸いにして、市民各位の暖かいご理解とご協力により、各種の施策を推進することができましたことに對し、厚く御礼を申し上げます。

しかしながら、市民のみなさんもご存じのとおり、石油ショック以来の政治・経済情勢の激変は、一段と深刻の度を増し、依然として景気は好転しないまま、きわめてきびしい状況のもとに、新年を迎えることになりました。

本市におきましても、この例外でなく、インフレと不況による財政危機は、この不況の長期化に伴ってますます深刻な情勢となっております。また、本年度の歳入面につきましても、税収入の伸びはあまり見込めず反対に歳出においては、義務的な経費の増大が予測されます。財政好転の材料が見当たらない現在の市の台所の状況では、市民生活を守るための最低限の事業すら実施が難しい状況です。

しかし、この苦しいなかであっても、四方八千市民の人達に「明るく住みよい、住んでよかった、未来に夢が持てる」と心から思っていただけ、国に對して行財政制度の抜本的な見直しを強く働きかけるとともに、すべての職員が公務員の立場を常に自覚し、住みよい地域社会をつくるため、なお一層努力をしてまいる所存です。また財源の確保にも最大の努力を尽し、限られた財源のなかで、ことしは真宗園跡地の老人福祉センターの建設など社会福祉の充実と暮らしの周辺の整備に重点を置き、市民サービスを低下させることなく、最小の経費で最大の効果を図ってまいりたいと存じます。

年頭にあたり、今後とも市政に対するみなさんのご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、みなさまのますますのご健康と、ご家族のご多幸をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

向日市長 民秋徳史